

事前評価調書

I 事業概要																																																							
事業名	河川事業																																																						
地区名	二級河川須賀川水系																																																						
事業箇所	知多郡阿久比町、東浦町																																																						
	河川名	区間			延長																																																		
	須賀川	0.0km～約2.3km(河口から二級河川上流端)			約2.3km																																																		
事業のあらまし	<p>須賀川は、愛知県知多郡東浦町と阿久比町の境界となる丘陵地に源を発し、東に向かって流れ、途中東浦町藤江地区付近までの排水を受け持ち、衣浦湾に注ぐ、法河川延長約2.3km、流域面積約3.0km²の二級河川である。</p> <p>当該流域では、昭和34年9月の伊勢湾台風、昭和49年6・7月の低気圧、平成3年9月の台風18号、平成12年9月の東海豪雨などによる浸水被害を受けた。近年では平成25年8月の豪雨により家屋浸水が発生するなど、浸水被害が度々発生している。</p> <p>このような災害を踏まえ、須賀川水系では、河川整備計画を関係機関や地域住民と連携して策定し、事業を推進していくものである。</p>																																																						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年超過確率1/5の規模の降雨（24時間雨量164mm、1時間雨量52mm）による洪水を安全に流下させる。 ・高潮対策については、堤防により伊勢湾台風規模の高潮による浸水被害の防止を図る。 																																																						
事業費	事業費	内訳																																																					
	9.0億円	■工事費 6.7億円、■用補費 2.3億円、□その他 億円																																																					
事業期間	採択予定年度	平成27年度	着工予定年度	平成28年度	完成予定年度	平成57年度																																																	
事業内容	河川名	工事施工区間		延長	主な工事内容																																																		
	須賀川	0.0k～0.6k		約0.6km	高潮堤整備																																																		
		0.6k～2.3k		約1.7km	築堤、河道拡幅、河床掘削																																																		
※河川整備計画の対象期間はH28～H57である。																																																							
II 評価																																																							
①事業の必要性	1) 必要性	<p>・須賀川水系は整備を進めてきたが、下表のとおり度々浸水による被害を被っている。</p> <p>・流域内には主要地方道東浦名古屋線、国道366号及びJR武豊線が南北に縦走している。また、市街化率は昭和40年代より増加傾向であり、治水安全度の向上に向けた整備を早急に進める必要がある。</p>																																																					
	<p style="text-align: center;">表1 主な浸水実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>洪水年月日</th> <th>異常気象名</th> <th>時間 最大雨量 (mm/hr)</th> <th>24時間 最大雨量 (mm/hr)</th> <th>浸水 面積 (ha)</th> <th>床下 浸水 (棟)</th> <th>床上 浸水 (棟)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昭和34年9月26日</td> <td>台風15号 (伊勢湾台風)</td> <td>21</td> <td>139</td> <td>不明</td> <td>不明</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>昭和49年6月5日</td> <td>低気圧</td> <td>15</td> <td>78</td> <td>0.70</td> <td>90</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>昭和49年7月24日～25日</td> <td>低気圧</td> <td>18</td> <td>130</td> <td>17.0</td> <td>25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平成3年9月18日～19日</td> <td>台風18号</td> <td>56</td> <td>232</td> <td>0.75</td> <td>34</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平成12年9月11日～12日</td> <td>東海豪雨</td> <td>93</td> <td>535</td> <td>49.7</td> <td>24</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>平成25年8月6日</td> <td>集中豪雨</td> <td>33</td> <td>85</td> <td>0.004</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考)・雨量は名古屋観測所(地方气象台)のデータを記載 ・浸水面積、床下浸水、床上浸水については、水害統計による。</p>							洪水年月日	異常気象名	時間 最大雨量 (mm/hr)	24時間 最大雨量 (mm/hr)	浸水 面積 (ha)	床下 浸水 (棟)	床上 浸水 (棟)	昭和34年9月26日	台風15号 (伊勢湾台風)	21	139	不明	不明	不明	昭和49年6月5日	低気圧	15	78	0.70	90	-	昭和49年7月24日～25日	低気圧	18	130	17.0	25	-	平成3年9月18日～19日	台風18号	56	232	0.75	34	3	平成12年9月11日～12日	東海豪雨	93	535	49.7	24	27	平成25年8月6日	集中豪雨	33	85	0.004	5
洪水年月日	異常気象名	時間 最大雨量 (mm/hr)	24時間 最大雨量 (mm/hr)	浸水 面積 (ha)	床下 浸水 (棟)	床上 浸水 (棟)																																																	
昭和34年9月26日	台風15号 (伊勢湾台風)	21	139	不明	不明	不明																																																	
昭和49年6月5日	低気圧	15	78	0.70	90	-																																																	
昭和49年7月24日～25日	低気圧	18	130	17.0	25	-																																																	
平成3年9月18日～19日	台風18号	56	232	0.75	34	3																																																	
平成12年9月11日～12日	東海豪雨	93	535	49.7	24	27																																																	
平成25年8月6日	集中豪雨	33	85	0.004	5	-																																																	

	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。																																							
		【理由】	甚大な被害が発生しており、治水安全度の向上に向けた整備を進める必要がある。																																							
②事業の実効性	1) 事業計画	表2 事業計画及び工事実績																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H28</th> <th>29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33~H57</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費(億円)</td> <td colspan="3">1.2</td> <td colspan="3">7.8</td> </tr> </tbody> </table>					H28	29	H30	H31	H32	H33~H57	工種 区分	調査・設計	←					→	用地補償			←			→	工事						←→		事業費(億円)	1.2			7.8		
			H28	29	H30	H31	H32	H33~H57																																		
工種 区分	調査・設計	←					→																																			
	用地補償			←			→																																			
	工事						←→																																			
	事業費(億円)	1.2			7.8																																					
		※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。																																								
	2) 地元の合意形成	<p>河川整備計画の策定において、関係市町の意見を踏まえ、流域委員会で学識者の意見を徴収し、整備計画対象区間を選定した。</p> <p>また、地域住民へのアンケートを実施し、治水安全度を高めるだけでなく、自然環境や水質、遊歩道といった利用にも配慮した川づくりが求められているため、整備計画に反映し、地元の合意形成を図っている。</p>																																								
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。																																							
		【理由】	地元の合意形成が図られており、実効性が期待できる。																																							
III 対応方針																																										
事業実施	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。																																									
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																										
<p>■対象（事業完了後 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>本事業は想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合にその効果を検証することとする。</p> <p>【主な評価内容】</p>																																										